

24時間訪問介護 周知を

「生きられる選択肢ある」



24時間訪問介護制度の活用を呼びかける内田由佳さん(左)と武川修士さん(右)

鳴門市の女性(74)が、難病の次男(当時49)を殺害した容疑で逮捕された事件を受け、県内に住む難病患者らが26日、県庁で記者会見を開き、在宅の障害者向けの24時間訪問介護の周知を訴えた。

難病患者2人訴え

会見を開いたのは、徳島市の筋ジストロフィー患者内田由佳さん(36)と、三好市の筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の武川修士さん(68)と妻豊子さん(66)、桜井彰弁護士。

内田さんは美馬市に住んでいた2015年4月、同市から県内で初めて24時間介護を認められ、その後、徳島市に転居して一人で生活している。武川さんは17年12月に三好市から24時間



24時間訪問介護

在宅の重度障害者が、食事や入浴、排泄の介護、外出時の移動支援などを24時間体制で受けられる。「重度訪問介護」制度に含まれ

介護を認められた。それぞれ、桜井弁護士が市との交渉を引き受けた。

内田さんは「鳴門の事件を聞いて、当事者として驚き、深い悲しみを感じた。介護は家族が担うものという意識が強く、家から出ずに暮らしている人も少なくない」とした上で、「重い障害がある人も、24時間介護を受けて地域で生きられる選択肢があることを知ってほしい」と呼びかけた。

武川さんの妻豊子さんは「最初は私が介護するという気持ちだったが、病状が進行して難しくなった。(24時間介護を認められる以前)夫は鳴門のような事

ており、市町村に認められれば、経費は市町村などから支給される。地域の事業所が24時間体制でヘルパーを派遣できない場合、自分でヘルパーを募集することもできる。

件にならないかと恐れていた」と振り返った。今は豊子さんの夜間の介護は週1回程度になり、負担が軽減されたという。

「介護保障を考える弁護士と障害者の会全国ネット」によると、24時間介護

次男絞殺の罪 74歳母親起訴

難病の息子を殺したとして徳島地検は26日、会社員真田かよ子容疑者(74)を鳴門市大津町木津野を殺人の罪で徳島地裁に起訴し、発表した。

起訴状などによると、真

を認められているのは全国で数百人。徳島県内は全国の都道府県で3番目に少ない2人にとどまっているという。

内田さんは「自立生活センターとくしま」を立ち上げ、重度障害者の相談を受けている。これまでに10人ほどから相談があったという。問い合わせは同センター(050・5896・8794)。メールアドレスは(hickey1998@yahoo.co.jp)。(福家司)

田容疑者は7日午前0時過ぎ、同市内の自宅で次男修志さん(当時49)の首をロープで絞めて、窒息死させたとされる。真田容疑者は10年ほど前から、病気で体が不自由な修志さんの介護を続けていた。最近、修志さんの病状が重くなり、自分で食事をするのも難しくなっていたという。

いけだ阿波おどり

魅力と可能性探る

池田高生研究 ミニ発表会

京・高田寺の阿波踊りにも参加した。

その結果、地元の阿波踊りを「舞台の踊りが無料で見られ、型にはまらない個性豊かな連が多い」などと評価する一方、「出演連が少なく、徳島市など比べ

第1子20万円 第6子80万円

日亜化学工業(本社・阿南市)は今年から、従業員の出産祝い金を大幅に引き上げた。従業員本人

金 引上げ

度を1万円ずつ支給していたのを、第1子10万円、第2子以降は10万円ずつ上乗せ(第5子以降は50万円)する制度に改めたばかり

生鮮食品市況 26日

鳥中央卸売市場(キロ当たり円)

・果物

	高値	安値		高値	安値
リンゴ	10	1944	生シイタケ	162	32
バナナ	10	3564	生シイタケ	1296	108
オレンジ	15	2268	生シイタケ	150	432
グレープ	10	1728	生シイタケ	2780	

- 【鳴門市】 桶川
- 【阿波市】 大塚
- 【美馬市】 牧野
- 【三好市】 元山
- 【美波町】 西村
- 【つるぎ町】 寺澤
- 【栗みよし町】 清水
- 竹内

情報こちらへ

事故の第一報や身近なニュースなど催し・話題など



医療法人 若葉会